

古典への誘い

～落語とその周辺～



ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、平成23年度から落語等に関する公開講座を開催し、受講された皆さんから好評をいただけてきました。平成29年度は、さらに話題を広げ、落語のみならず、歌舞伎や文楽、能楽、日本舞踊など日本の古典芸能全般に関する公開講座「古典への誘い～落語とその周辺～」を開催します。

金曜の夜、古き良き日本の文化を堪能してみませんか。興味関心がおありの方は、是非ご参加ください。



開講日：平成29年4月～平成30年3月のおおむね隔週金曜日(裏面参照)



時間：19:00～20:30



講師：小林 昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

申込方法：以下のいずれかによりお申し込みください



1. ネットワーク大学コンソーシアム岐阜ホームページ(下記連絡先参照)の申込フォームから申込
2. 電話・FAX・メールのいずれかにて裏面の申込書情報をコンソーシアム事務室まで連絡



会場：岐阜大学サテライトキャンパス
(岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37
東棟4階)



募集定員：各回50名(先着順)

**受講料
無料**

講師からのメッセージ

古典芸能ないし伝統芸能の世界は広く深い。そして複雑でかつ簡潔でもある。あるいは現代的であり古典的でもある。「古典」とか「伝統」という言葉を使ってしまった段階で、それらの表現はすでに「現代」からは距離を置いて捉えられることになる。だが、本当にそうであろうか？

現代のさまざまな表現よりもはるかに斬新で未来的で批評的な古典や伝統はいくらでも存在する。そして何よりも、人びとが古典芸能や伝統芸能の空間に足を運び、あるいはそれらの技能を習得しようとするのは、わたしたちの身体がそもそも普遍的なものであって、時代や様式や流行を超えて成立してるからに他ならないのである。つまり、古典や伝統について考えることは、「現代」の「わたしたち」の「身体」について考えることとほぼ同一のことなのだ。

2011年度より開講されている講座から、わたしたちの身体はさらに飛翔ないし潜行して、「現代的な古典」ないし「古典的な現代」という新しい世界へ突入する。いわば、本年度はそのための地図づくりの意味合いをもっている。

講座一覧

4月7日 古典芸能とは何か～芸能史入門	10月13日 能楽入門 ～世阿弥を読む（一）
4月28日 落語から入る古典芸能 ～歌舞伎「文七元結」	10月27日 能楽入門 ～世阿弥を読む（二）
5月12日 落語から入る古典芸能 ～歌舞伎「らくだ」	11月17日 能楽入門 ～世阿弥を読む（三）
5月26日 歌舞伎学入門 ～歌舞伎の構成要素	12月1日 能楽入門 ～世阿弥を読む（四）
6月9日 歌舞伎学入門 ～歌舞伎の主要演目	12月15日 落語から入る古典芸能 ～落語「芝浜」
6月23日 歌舞伎学入門 ～歌舞伎の名優たち	12月22日 落語から入る古典芸能 ～落語「怪談牡丹燈籠」
7月7日 歌舞伎学入門 ～新しい歌舞伎へ	1月12日 文楽vs. 歌舞伎～「曾根崎心中」
7月21日 落語から入る古典芸能 ～落語「立ち切り線香」	1月26日 歌舞伎vs. 映画～「勸進帳」
7月28日 落語から入る古典芸能 ～落語「七段目」	2月9日 歌舞伎vs. 能楽～「黒塚」「安達原」
8月25日 文楽・歌舞伎の名作 ～菅原伝授手習鑑	2月23日 日本舞踊の世界 ～歌舞伎舞踊
9月8日 文楽・歌舞伎の名作 ～義経千本桜	3月9日 日本舞踊の世界 ～京舞・上方舞
9月22日 文楽・歌舞伎の名作 ～仮名手本忠臣蔵	3月23日 日本舞踊の世界 ～仕舞

FAX用 受講申込書（FAX送付先番号：058-212-0391）

以下のとおり、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度公開講座（古典への誘い）に参加を申し込みます。

お名前（フリガナ）	男性		女性			
電話番号						
メールアドレス（任意）						
住所	〒 -					
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
個人情報取扱の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や講座情報をご案内するため、お名前・住所等を利用させていただきます。よろしいでしょうか。				同意する	同意しない

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休講など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内（同意を得た方のみ）に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。